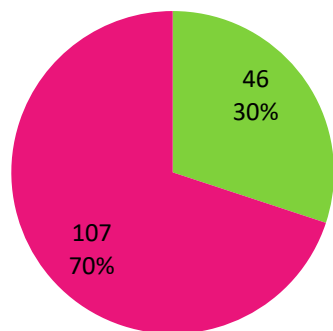


# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況①）

平成30年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員候補者となった者に対して、当事者間交渉状況等についてアンケートを実施

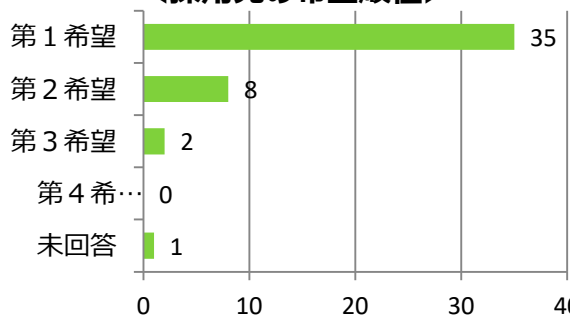
（H30.10実施 対象者数：200名、回答者数：153名（回答率 77%））

## ○当事者間交渉状況

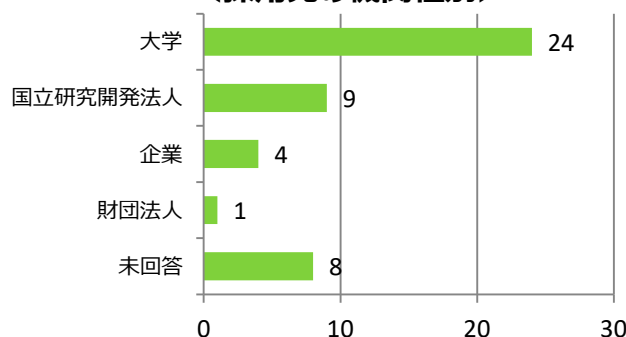


- 当事者間交渉が完了し、採用が決定した
- 当事者間交渉が完了していない

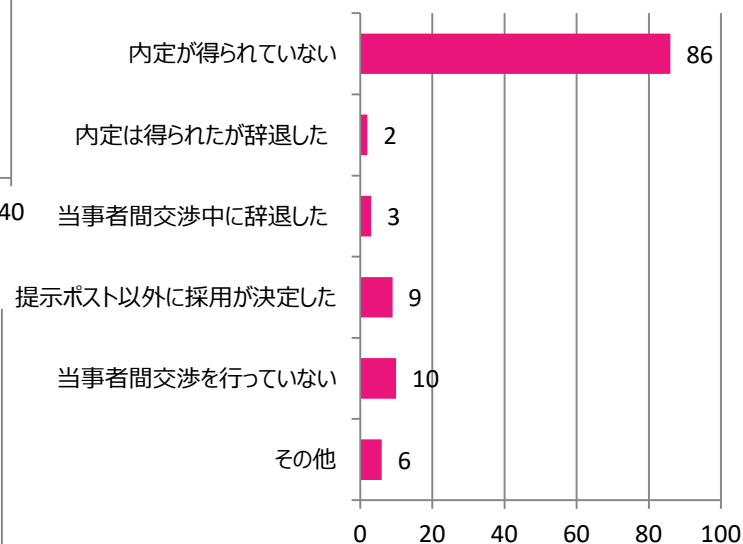
### <採用先の希望順位>



### <採用先の機関種別>



### <当事者間交渉が完了していない者の現在の状況>



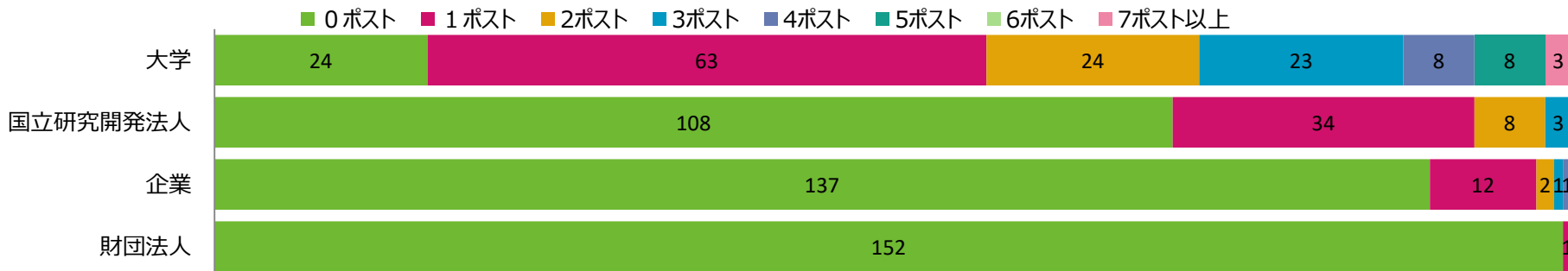
#### その他の主な内容

- ・卓越研究員候補に採用されたと同時に他の公募で採用されたため
- ・どれも分野が限定されており応募できるポストがなかった
- ・ポストに応募したが、先方から音沙汰もなく公募自体が流れた
- ・独立して満身に研究室を立ち上げられるポジションが見つからなかった など

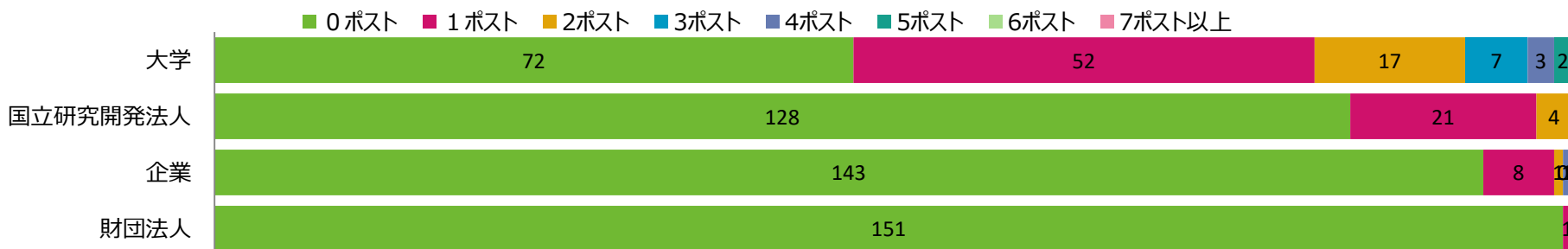
# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況②）

＜当事者間交渉を行った機関別ポスト数＞

※質問対象者：全候補者

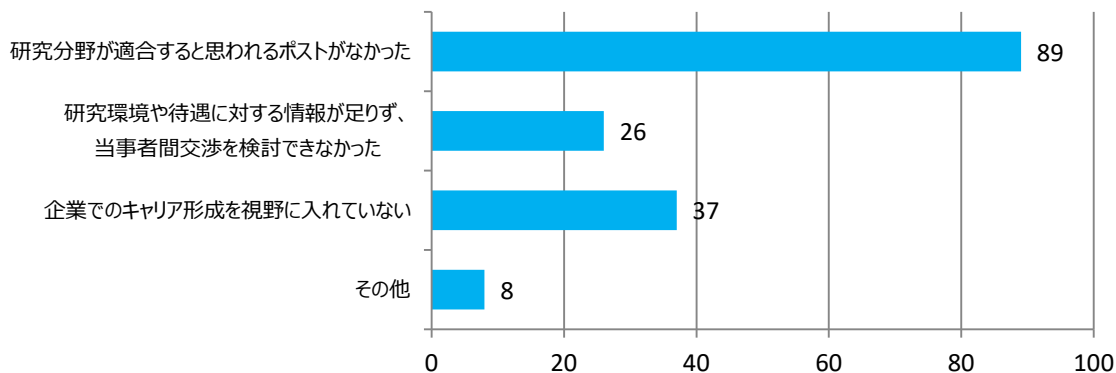


＜研究機関側から連絡のあったポスト数＞



＜企業との当事者間交渉を行わなかった理由（複数選択可）＞

※質問対象者：企業と当事者間交渉を行ったポスト数0と回答した137名



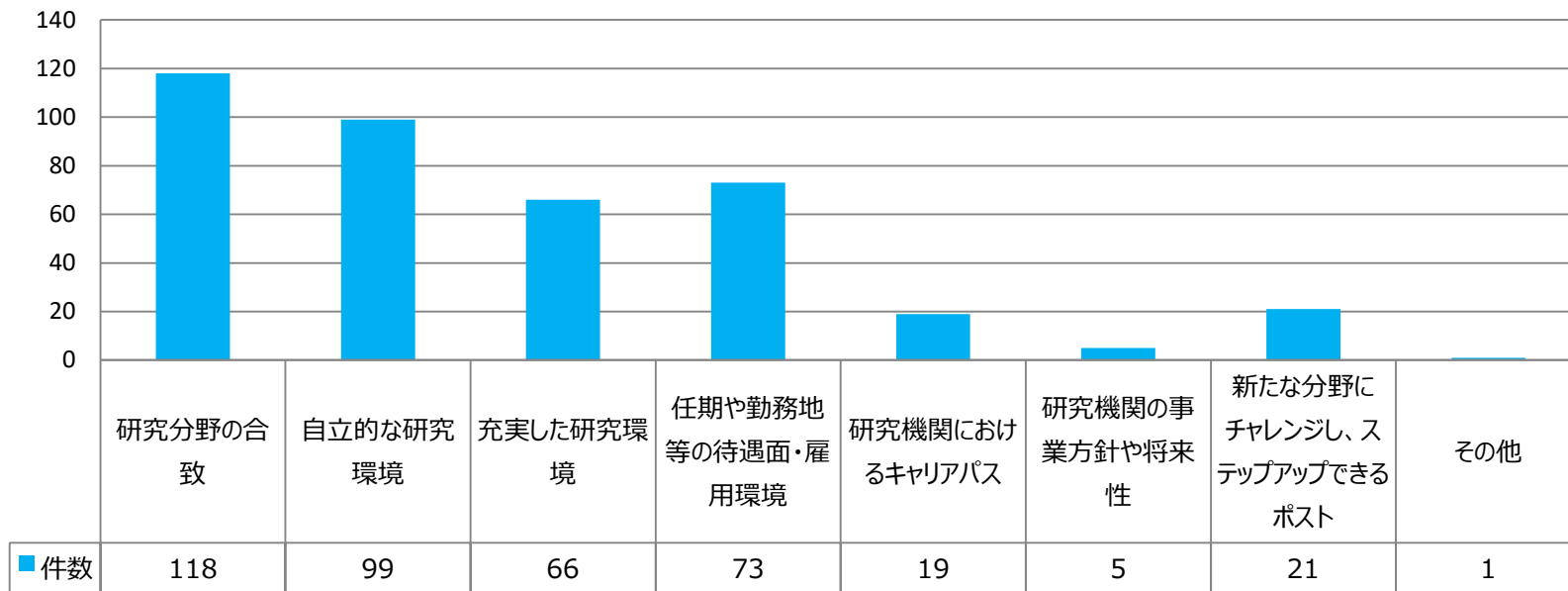
その他の主な内容

- ・自分の能力が相手に魅力的かどうかわからなかった
- ・勤務地に希望する地域がなかった
- ・視野には入れていたが、大学のポストが決まったためなど

# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況③）

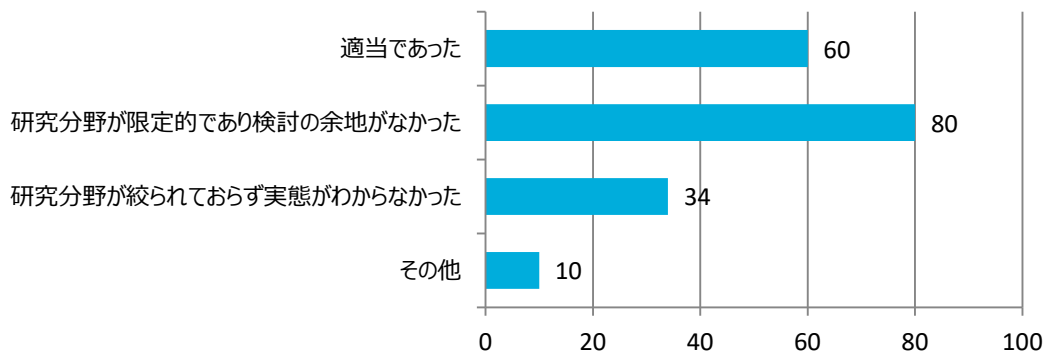
＜ポストを選定する際に優先した点（複数選択可）＞

※質問対象者：全候補者



＜ポストの研究分野の提示方法について（複数選択可）＞

提示方法 その他の主な内容

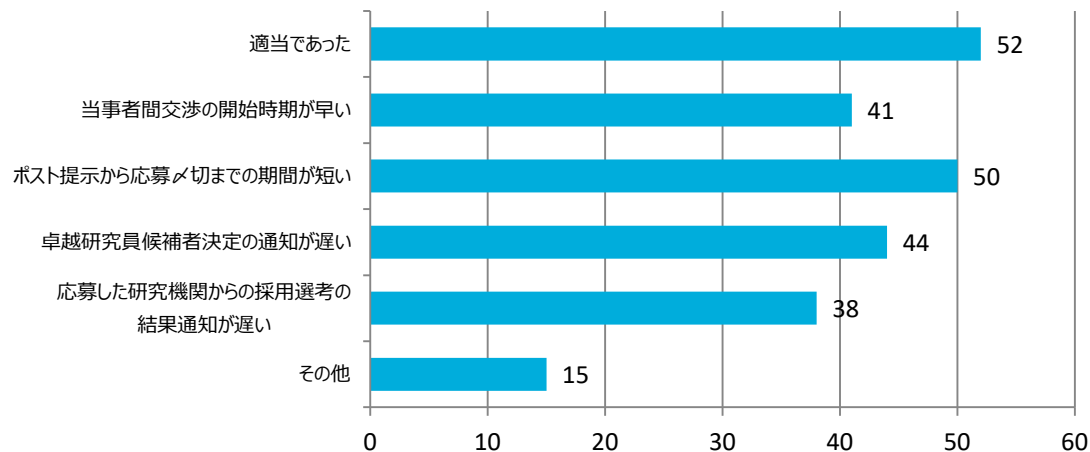


- 雇用条件や研究環境が記載されていないものが多く判断に困った
- 科研費審査区分の小区分まで示してもらった方が分かりやすい
- Some posts are very specific so it is very difficult to match with their expectations. など

# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況④）

※質問対象者：全候補者

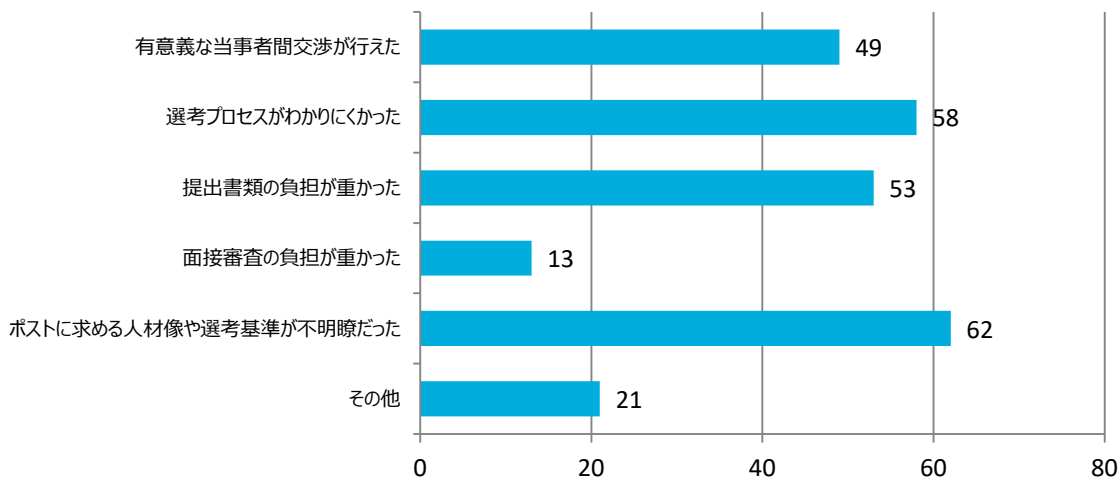
## <交渉のスケジュールについて（複数選択可）>



### スケジュール その他の主な内容

- 候補者決定通知から、面接までの期間が短い
- 短期間に集中して多くの面接などが受けられるスケジュールだと海外在住者は助かる
- 海外からの申請であったため、1週間以内に郵送必着は現実的に無理であった
- 事前申請(卓越の応募と同時に)が必要な場合があり、卓越候補者になってもやりようがなかった など

## <研究機関の実施した選考について（複数選択可）>



### 機関選考 その他の主な内容

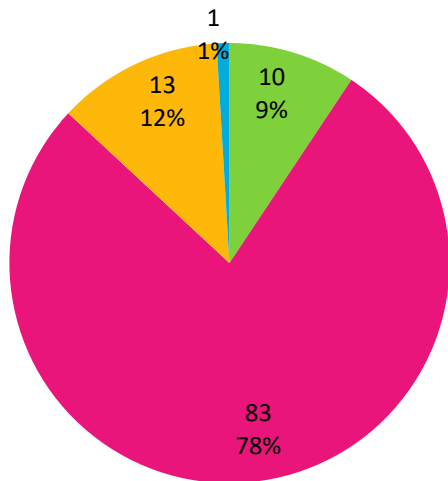
- 研究機関の採用担当者が卓越研究員事業の趣旨を理解していない
- 公平に選考がなされているか不明である
- 研究機関での選考結果がメール一本のお断りで、何が起こったのか全く理解できなかった
- 卓越研究員事業が掲げる事業の意義と研究機関が求めるものが一致していない など

# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況⑤）

○ **今後の予定** ※質問対象者：当事者間交渉が完了していないと回答した106名

○ **その他** ※質問対象者：全候補者

＜今年度の当事者間交渉の意向＞

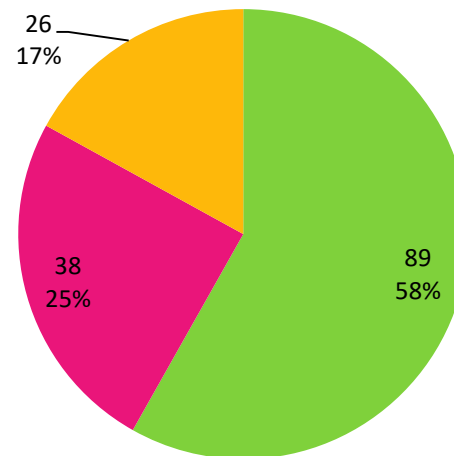


- まだ応募可能なポストがあるため、引き続き当事者間交渉を行う
- 希望する提示ポストの追加があれば、今年度の当事者間交渉を希望する
- 提示ポストの有無にかかわらず、今後の当事者間交渉は行わない
- 無回答

今後の当事者間交渉を行わない主な理由

- 研究内容の合致するポストがほぼないため
  - 提示ポスト以外のポストに採用されたため
  - 他の一般のポストへの応募に集中するため
  - 来年度以降、改めて挑戦したいため
- など

＜マッチング支援の利用希望＞



- 利用したい
- 利用の必要はない
- どちらともいえない

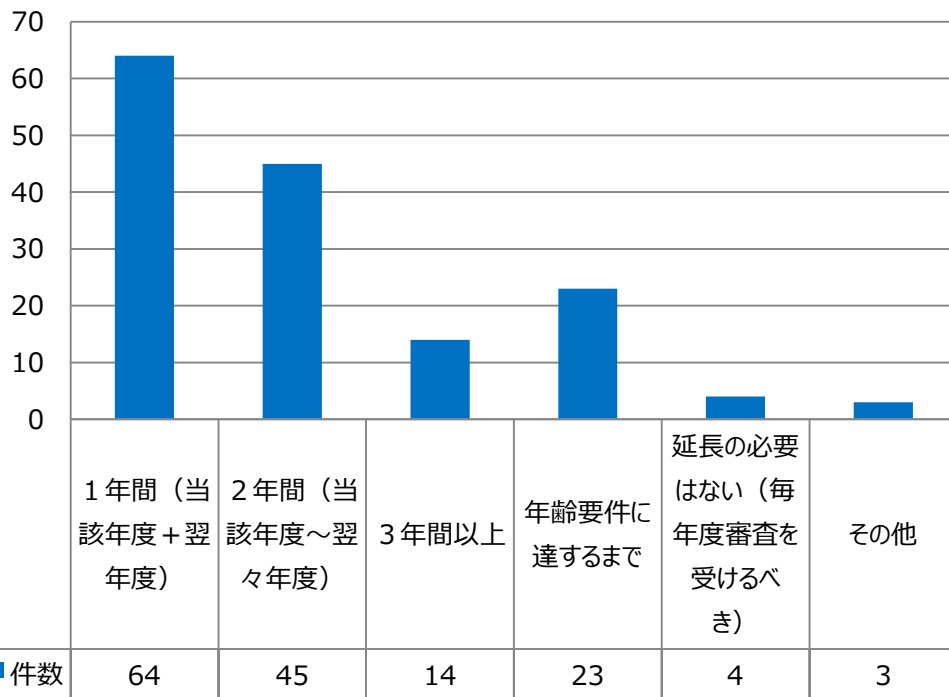
必要はない、どちらともいえない 主な理由

- 詳細が明らかにならないと利用できるか判断出来ないため
  - 十分に機能するとは思えないため
  - 仲介事業者より研究機関と研究者自身のほうが互いの研究の方向性を理解できると思うため
  - 選考プロセスの透明性は確保されるが、双方の負担が増えると思われるため
  - プロセスが長くなり過ぎるため
  - ポスト数が少なく自分で探せるため
  - 当事者間交渉を始める際のマッチングが問題であるとは認識していないため
- など

# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況⑥）

※質問対象者：全候補者

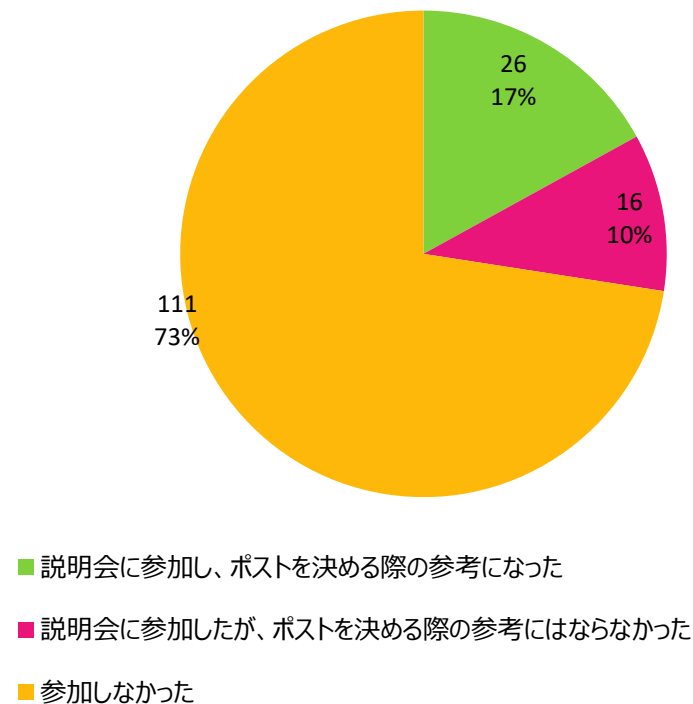
## ＜候補者資格の延長期間（複数選択可）＞



### その他の主な理由

- 卓越研究員の制度自体を見直すべき
- 卓越候補者になったのに決定しないのでは意味がない
- 毎年度審査を受けるべきだが、その際の採点にプラスアルファを追加する など

## ＜平成30年度申請者（若手研究者）向け公募説明会への参加状況＞



# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況⑦）

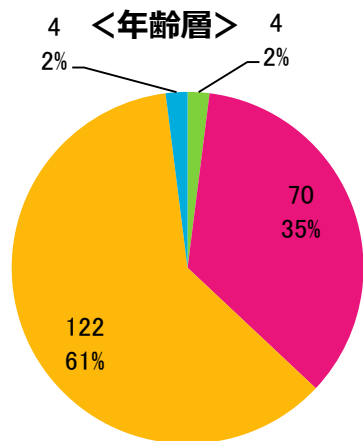
## ○主な意見（改善希望事項等）

	意見分類	主な内容
A	制度改善全般に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卓越研究員候補者資格の延長を要望する。（8件）</li> <li>○海外からの申請は応募締切、交通費負担などで不利となった。スケジュール等の改善が必要。（2件）</li> <li>○あらかじめ卓越研究員制度に参加を表明したポストのみを対象とするのではなく、拘束条件なく機関が候補者を雇用できるようにしてほしい。</li> <li>○候補者が卓越研究員になれる割合を増やさないと事業の意味がない。</li> <li>○ポストが決まらない場合、卓越研究員候補者となったメリットがない。</li> </ul>
B	ポスト・当事者間交渉に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機関における選考過程が不透明である。（9件）</li> <li>○申請書と研究機関側への応募書類を別に作成しなくてはならず、大きな負担となった。卓越研究員の申請書や統一書式で研究機関側の審査が行われると良い。（9件）</li> <li>○ポストの研究領域が非常に限定的であり、応募の余地がない。ポストを増やすか、募集ポストの分野を広くしてほしい。（7件）</li> <li>○事業の趣旨と異なり、独立したポストではないと思われるポストが提示されている。（6件）</li> <li>○機関による選考手順にある程度一律のルールが必要だと思う。（5件）</li> <li>○人文学の分野でのポストが少ない。（2件）</li> <li>○若手のプログラムとしては非常に素晴らしいと思うが、外国人に対しては言語の問題がある。候補者との間に交渉のための代理人がいれば完璧となると考える。（2件）</li> <li>○当事者間交渉の競争率が高く、掲示されているポストに関しても通常の公募と余り変わりのない研究分野で「制度としての差別化」はなされていない。卓越制度のメリットが感じられない。（2件）</li> <li>○ポストを提示する企業が減少しており、企業を志望する候補者は本制度を十分に発揮できない。企業ポストも充実させてほしい。</li> </ul>
C	経費に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究機関にインセンティブを与えるような制度変更が必要。（卓越研究員の人件費支援など）（4件）</li> <li>○候補者にも研究費を交付し、研究成果を上げるチャンスとしてほしい。（4件）</li> <li>○状況に応じて補助金の配分を変えるべき。（予算執行開始時期を、採用年度の次年度からも可能にする、繰り越しを可能にする等。）（4件）</li> <li>○使途の制限を大きく緩和してほしい。（2件）</li> </ul>

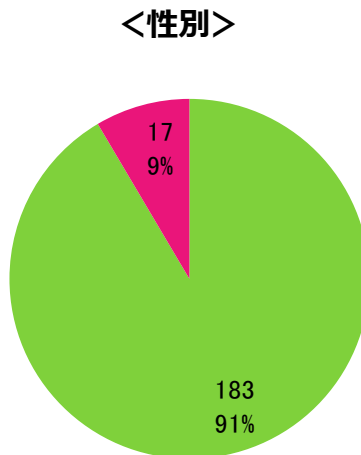
# 平成30年度卓越研究員事業のアンケート結果（卓越研究員候補者の当事者間交渉状況⑧）

## ○参考：卓越研究員候補者の属性

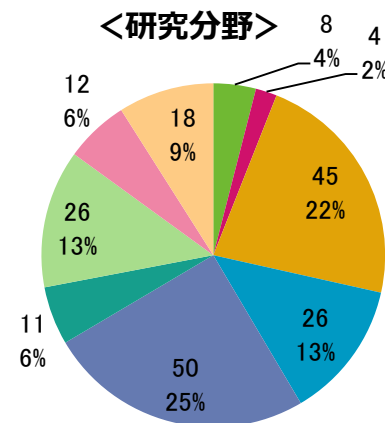
※年齢層、性別、研究分野、所属機関（申請時点）は実績値を記載



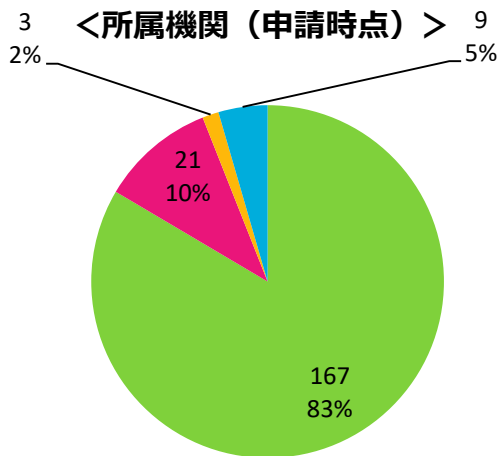
■ 20代 ■ 30代前半 ■ 30代後半 ■ 40代



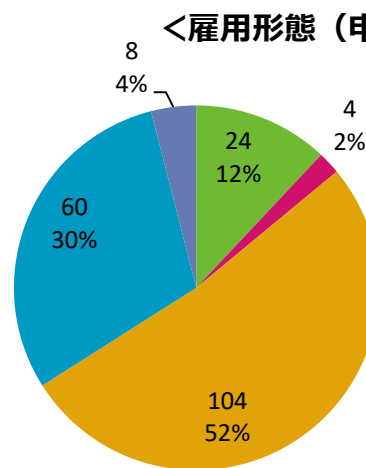
■ 男性 ■ 女性



■ 人文学 ■ 社会科学 ■ 数物系科学  
 ■ 化学 ■ 工学系科学 ■ 情報学  
 ■ 生物系科学 ■ 農学・環境学 ■ 医歯薬学



■ 大学及び大学共同利用機関 ■ 国立研究開発法人  
 ■ 企業 ■ その他法人



■ 常勤研究職（雇用期間の定めなし）  
 ■ 常勤研究職（テニユアトラック）  
 ■ 常勤研究職（任期付き）  
 ■ ポストドク・フェローシップ  
 ■ 非常勤研究職